

「東京科学大学献体の会」会員ならびにご関係の皆さまへ

臨床解剖学分野では、以下の研究を行っております。皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

研究課題名：手部の関節と筋，神経に関する解剖学的研究

東京科学大学医学系倫理委員会承認番号：第 I2025-314 番

データ収集期間：研究実施許可日から 2030 年 3 月 31 日まで

研究目的：

手関節は上肢の円滑な運動において重要な役割を担います。そのため、変形性関節症、靱帯損傷、三角繊維軟骨複合体損傷、橈骨遠位端骨折などの変性疾患、外傷により起こる機能障害は日常生活でも多く見られます。これらの障害が生じた際に、手関節構造の正確な理解は外科手術やリハビリテーションのためにも重要です。しかしながら、手関節を支える多くの筋、靱帯、関節包、神経がどのような位置関係をもっているか、どのように重なり合って層構造をなしているか、どれぐらいの幅をもって骨に付いているかなどの詳細な解剖学的研究はあまりなされていません。私たちは、手関節とその周囲の筋、神経を詳細に調べることで、手関節に生じる障害の理解に役立つ解剖学的基盤を作りたいと考えています。

研究の対象：

本研究で用いる解剖体は、すべて生前に「東京科学大学献体の会」に入会された方のご遺体です。その尊いご遺志に深く感謝するとともに、医学、歯学の教育ならびに研究に用いるという献体法（医学及び歯学の教育のために献体に関する法律）ならびに死体解剖保存法の方針を遵守して行って参ります。また、研究の実施に当たっては、「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守すると共に、日本解剖学会が定めた「解剖体を用いた研究についての考え方と実施に関するガイドライン」に従って行います。

研究の内容：

本学臨床解剖学講座にて保存されている解剖体を用いて、手部関節の靱帯・関節包とその周囲の筋、手部関節を構成する橈骨、尺骨や手根骨、指節骨の骨形態ならびにその栄養血管や支配神経を観察します。また組織標本を作製し、筋や靱帯・関節包がどのように骨に付着しているかの観察を行います。染色方法としては HE 染色に加え EVG 染色、Masson 染色、Toluidine Blue 染色などを行います。また、骨形態の観察のため、X 線撮影装置（SOFTX CMBW-2、ソフテックス社）、マイクロ CT（SMX-100CT、島津製作所）を使用し、橈骨、尺骨や手根骨、指節骨がどのような構造をしているかを明らかにします。この研究によって、手部関節を支える筋・靱帯・関節包・神経の構造が立体的かつ詳細にわかり、障害の原因となる構造の理解が推測できると考えています。

この研究により一定の成果がえられた場合には、その結果を国内外の学会や論文で発表しますが、写真閲覧時に匿名化を行い、解剖体の個人を特定できる情報は使用いたしません。登録解剖体の同定や照会は、登録時に発行される登録番号を用いて行います。登録にあたっては、識別番号を設定し、対応表を作成します。参照した画像等は、匿名化の後、臨床解剖学医局にて 10 年間厳重に保管し、研究終了後に適切に扱わせていただきます。

本研究は、JA 共済総合研究所との共同研究として行っています。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。また、共同研究契約により JA 共済総合研究所に特段有利になることがないように運用されておりますし、学会発表や論文の公表にあたっては、資金について公表し、研究の透明化を図って参ります。またデータを二次的に利用する場合は新たな研究計画を立案し医学系倫理審査委員会で承認された後、改めてホームページ上でお知らせいたします。

なお、本研究に関してお問い合わせのある場合、下記宛先までご連絡ください。また、研究の途中であっても、解剖体の使用あるいは得られたデータの使用をお断りになる場合には直ちに本研究の対象から除外します。その場合にも故人および関係者の皆様の不利益となることは一切ありませんので、ご遠慮なくお申し出ください。

研究責任者：東京科学大学 運動器機能形態学講座 二村 昭元

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803- 5390（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）

苦情・相談窓口：

苦情窓口：東京科学大学研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）